

今月は「腐る」ということをテーマにしゃべっていました。

四人の先生方に書いていただきました。

相田先生は、食品微生物学、発酵が専門です。「納豆ロード」「納豆トライアングル」やワインのお話、とても興味深く思いました。

平田先生は、以前、心理相談もなさつていたということで、人間関係の中の「くされ」を書いていただきました。私のまわりにもくされ縁の関係はたくさんあります。でもなかなか切り捨てがたい、良い関係であります。

徳野先生は、風刺漫画を御本業とされていますが、雑草と野菜の共存という、型やぶりの畠づくりをなさっています。子ども達と一緒につくる幼稚園の畠も、これなら無農薬で、安心ですね。

島村先生の幼稚園は、園児がたつたの九名で、しかも全員一年保育だそうです。自然の恵みの中で、体験を通して、生活がしつかりと身についている……、まるで家庭のような幼稚園です、とおっ

食べ物が腐る、木や石や金属などがくちる、人の心が純粹さを失う、思うようにならず気持ちがくさくさする、人のことや行動をくさす……。

「腐る」ということばは、いろいろな時に使われますが、あまり良いイメージの使われ方ではありません。でも心や物は「腐る」と本当にダメになってしまふのでしょうか。又、腐らないことは、良いことなのでしょうか。プラスチックやフロンガスなどは、くさったり、こわれたりしないことがかえって問題をひきおこしているのです。

「腐る」ことによつて、土にかえつたり、淨化されたり、又新たな生命や物質、新しい価値が生まれてくるのです。そのためには、くさり切るということが絶対に必要なでしょう。そしてくさり切るまで「待つ」ということも、大切なことなのでしょう。

幼児の教育 第九十卷 第六号	
（一九九一年六月号）	
平成三年六月一日 発行	定価四五〇円（本体四三七円）
編集兼发行人 本田和子	
発行所 日本幼稚園協会	
印刷所 東京都文京区大塚二十一—一 お茶の水女子大学附属幼稚園内	
図書印刷株式会社	
発売所 東京都港区三田五十一—二 株式会社 フレーベル館	
東京都千代田区神田小川町三一 振替口座 東京九一一九六四〇	
電話 ○三三三二九二一七七八一	
● 本誌購読のご注文は、発売所フレーベル館にお願いいたします。	
● 万一千・落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。	